6．国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の計上方法

⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。

⑵　政府出資の機会費用の計算に使用した利率

10年利付政府保証債の平成21年３月末利回りを参考に1.340%で計算しております。

7．リース取引の会計処理

リース総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

8．消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によっております。

（重要な債務負担行為）

当事業年度に契約を締結し、翌期以降に支払いが発生する重要なものは以下のとおりです。

（単位：円）

契約件名	契約先	契約金額	翌期支払予定額
筑波技術大学（天久保・春日地区）学生宿舎新営工事	松浦建設㈱	215,250,000	129,150,000
筑波技術大学（天久保・春日地区）学生宿舎新営電気設備工事	岡田電業㈱	51,450,000	30,870,000
筑波技術大学（天久保・春日地区）学生宿舎新営機械設備工事	中沢機工㈱	41,055,000	25,055,000
筑波技術大学（天久保・春日地区）学生宿舎新営エレベーター工事	三菱電機㈱	18,900,000	18,900,000
筑波技術大学（天久保・春日地区）学生宿舎工事監理業務	㈱綜企画設計	4,935,000	4,935,000
合計		331,590,000	208,910,000

（重要な後発事象）

該当ありません。

注記事項

（貸借対照表）

1．翌期以降の運営費交付金から充当するべき賞与見積額　123,112,382円

2．運営費交付金から充当されるべき退職給付見積額　1,849,004,495円

3．債務保証

種類	保証先	金額
債務保証	独立行政法人国立大学財務・経営センター	12,547,550円

4．減損の認識

⑴　減損を認識した固定資産

①　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途	種類	場所	帳簿価額
職員宿舎	建物	茨城県つくば市	3,214,167円
無線電信機（ＳＣＳアンテナ）	工具器具備品	茨城県つくば市	1,666,554円
ＳＣＳアンテナ基礎	構築物	茨城県つくば市	770,695円

②　減損の認識に至った経緯

職員宿舎、無線電信機（ＳＣＳアンテナ）及びＳＣＳアンテナ基礎ともに、使用されている範囲又は方法について、当該資産の使用可能性を著しく低下させる変化が生じており、その全部の使用が想定されていないため、減損を認識しております。

③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

用途	種類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
職員宿舎	建物	0円	3,214,166円
無線電信機（ＳＣＳアンテナ）	工具器具備品	0円	1,666,553円
ＳＣＳアンテナ基礎	構築物	0円	770,693円

④　回収可能サービス価額

職員宿舎、無線電信機（ＳＣＳアンテナ）及びＳＣＳアンテナ基礎ともに使用価値相当額により測定しており、当該資産につきその全部の使用が想定されないため、備忘価額としております。

⑵　減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く。）

①　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途	種類	場所	帳簿価額
電話加入権	電話加入権	茨城県つくば市	295,000円

②　認められた減損の兆候の概要

市場価格が著しく下落しております。

③　減損会計基準「第４　減損の認識」２に掲げる要件を満たしている根拠又は固定資産の市場価格の回復の見込みがあると認められる根拠

市場価格の回復の見込みがあるとは認められませんが、使用価値相当額（ＮＴＴの公定価格）が帳簿価額を上回ることから、減損を認識しておりません。

（損益計算書）

附属診療所において、法人設立時に国から承継され、資産見返勘定を立てて会計処理を行っている診療機器等に係る当期の資産見返勘定戻入額は、474,418円であります。

（キャッシュ・フロー計算書）

1．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	880,361,054円
資金期末残高	880,361,054円

2．重要な非資金取引

寄附受による資産の増加　4,558,440円

（国立大学法人等業務実施コスト計算書）

引当外退職給付増加見積額のうち、695,940円は国からの出向職員に係るものであります。